

月報 シオン山

2025年7月6日発行 (No418)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel (093) 561-0772 Fax (093) 561-0760 E-mail: bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

【月間聖句】

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでいられることです。」

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16～18節)

「神様は何をしてくれるのか」

坂田千代美

2年程前に娘が突然の難病になりました。膠原病の一種で、皮膚と筋肉に炎症が起きる自己免疫疾患です。筋力が落ちて関節痛もあるようです。治療薬のステロイドで小さな副作用は続いていましたが、今年のお正月にはかかるとに痛みが出て骨梗塞や骨壊死だと分かりました。骨がもろくなっているのでマシーンを使うと危険だそうで、発病後に筋力低下を防ぐ為に私と一緒に通っていた女性専門の運動施設に行くことを医師から止められました。

歩くのも不自由なようで、足に合う靴を求めて運動シューズ専門店で相談に行き、リハビリに頻繁に通いアドバイスをもらい、体に合わせて杖をオーダーしました。また筋力低下で布団から立ち上がること

が難しいので、介護用の電動ベッドをレンタルしました。とにかく対処が素早いです。これらの合間には難病サロンに参加して、先輩方からさまざまなことを学びました。

するとそれから2ヶ月後には、更に副作用で白内障を発症しました。GW 前に片目の手術を無事に終えたのですが、親より先に白内障にかかり、レンズ選びの調査・研究に徹底的に時間を費やしていました。

突然襲ってきた娘の病気と次々と訪れる薬の副作用に翻弄されながらも、私たち家族は平穏な日々を送っています。動揺しない娘の様子を平尾教会の知人は「職場でガン治療の大変さを知っているから、病気に対して冷静なのは」と現実的に分析します。また、西南女学院高校卒業の50代の教え子は「マヤ文明の占星術によれば娘さんは戦う人。悩んだりくよくよしたりするより困難を解決する方法を考えるタイプ」と言います。(へえー)。そんな中でキリスト教に触れたことのない知人が「背後に大きな安心できるものがあるから親子さんとも平然としているの shouldn't でしょうね」と言いました。(神様と遠いはずの方からこの言葉が出てくるとは！なるほど！)

ところで福岡市に転居して知り合った方の一人が、何度も自分の信仰に誘ってきます。(私はクリスチャンだとその都度断るのに、なぜ?!) そしてこの方の娘さんが職場でのパワハラが原因で、同時期にメンタルの病気になりました。知人は医師と相談して休職させ連日外に連れ出してストレスを発散させたそうです。娘さんは無事に快復して、この方は娘を本当に救ったのは毎日唱えたお題目だと言います。そして私に「あなたの神サンは何をしてくれるのか?」と(挑戦的にではなく)気持ちがよいくらいストレートに、実に素朴に純朴に、尋ねるのです。うーん、私の神様は何をしてくれるのか!?

思いがけず突き付けられたこの問いで、30年も前に伊藤世里江牧師が西南女学院の中高生に話された「非力な神」という言葉を思い出しました。神は非力けれども「こ～んなにあなたを愛しているのだよ」と十字架上で両手を広げて愛の大きさを示しているのだ、と言われました。

神様は非力でも、私たちが元気で、平穏で、安心して、大丈夫だと生活できるのは、神様がいつでも一緒にいてくださるからだと思えます。神様は何をしてくれるのか?・・・いつでもどんな時でも共にいてくださる、これが私の答えです。これだけで今日も元気に過ごしています。

水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。

大河の中を通っても、あなたは押し流されない。

火の中を歩いても、焼かれず

炎はあなたに燃えつかない。

(イザヤ書 43:2)